

STAR

コーン引起し装置

取扱説明書・部品表

製品コード

K38136

型

式

A L C 2500

部品供給型式

A L C 2500-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

START

⚠ 安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、⚠印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



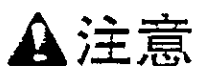
危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



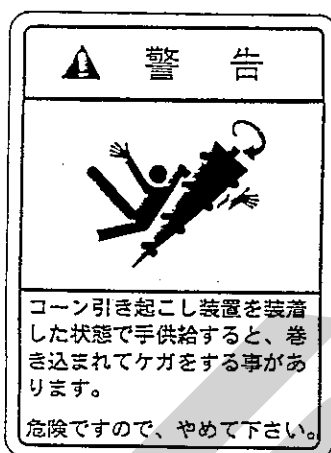
警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

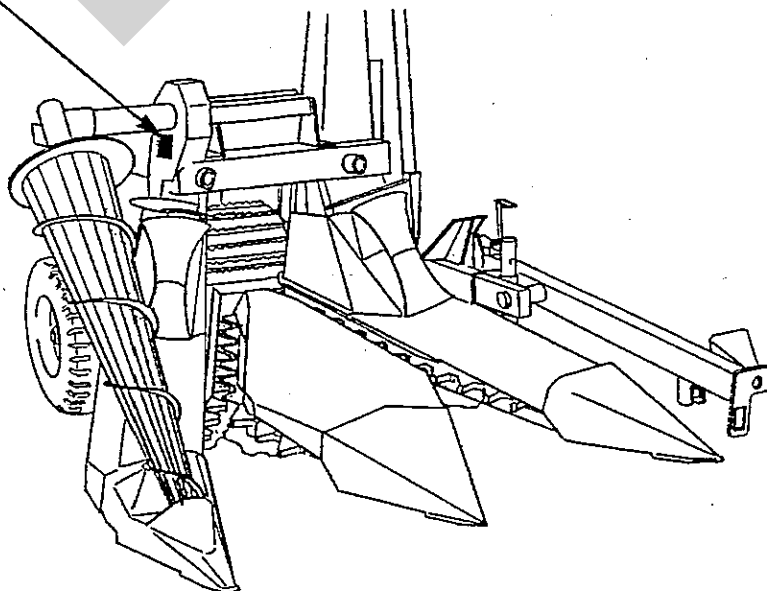


注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



部品番号 106477



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前にはトラクタの取扱説明書並びに本取扱説明書及び、フォレージハーベスタ・ロータロップアタッチの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こしケガをすることがあります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- コーン引き起こし装置を装着した状態で手供給すると巻き込まれケガをする事があります。
手供給する時はオーガ、搬送チェーンと刈り取りナイフの回転を停止してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめてから行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
取り外したカバー類は、元通りに取り付けてください。

作業が終わったら

機体を清掃するときは

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめてから行ってください。

終業点検をする時は

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

もくじ

A	安全に作業するために	
	安全に関する警告について	… 1
	作業前には	… 2
	作業中は	… 3
	作業が終わったら	… 3
	不調処置・点検・整備をする時	… 3

1	ロックロップアタッチメントへの装着	
	1 各部の名称とはたらき	… 5
	2 組立部品	… 5
	1 解 梱	… 5
	2 組立部品の明細	… 5
	3 ロックロップアタッチメントへの装着	… 6

2	運転を始める前の点検	
	1 運転前の点検	… 7
	2 エンジン始動での点検	… 7
	3 給油箇所一覧表	… 8

3	作業の仕方	
	1 本アタッチメントの使用目的	… 9
	2 作業要領	… 9

4	作業が終わったら	
	1 作業後の手入れ	… 9
	2 長期格納するとき	… 9

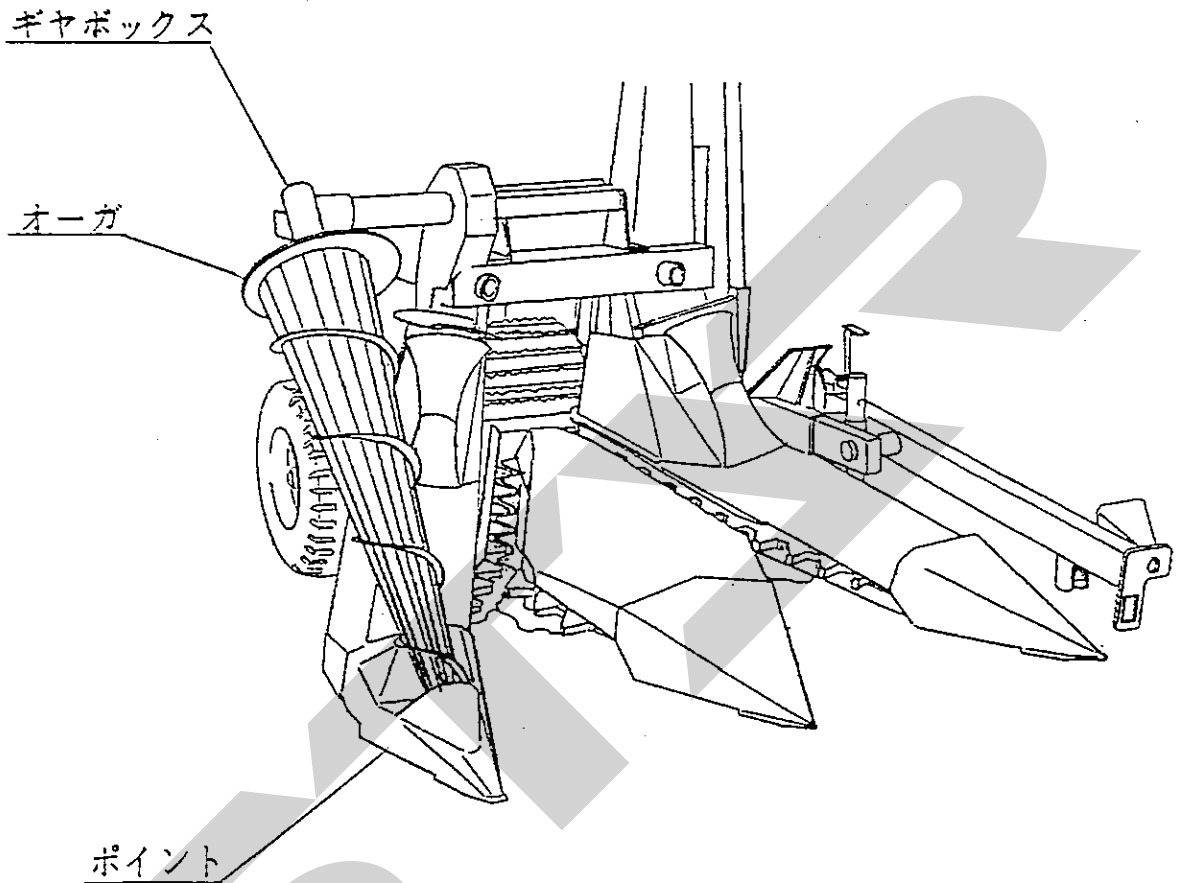
5	点検と整備について	
	1 点検整備一覧表	… 10

6	不調時の対応	
	1 不調処置一覧表	… 11

7	部 品 表	… 12
---	-------	------

1 ロックロップアタッチメントへの装着

1 各部の名称



2 組立部品

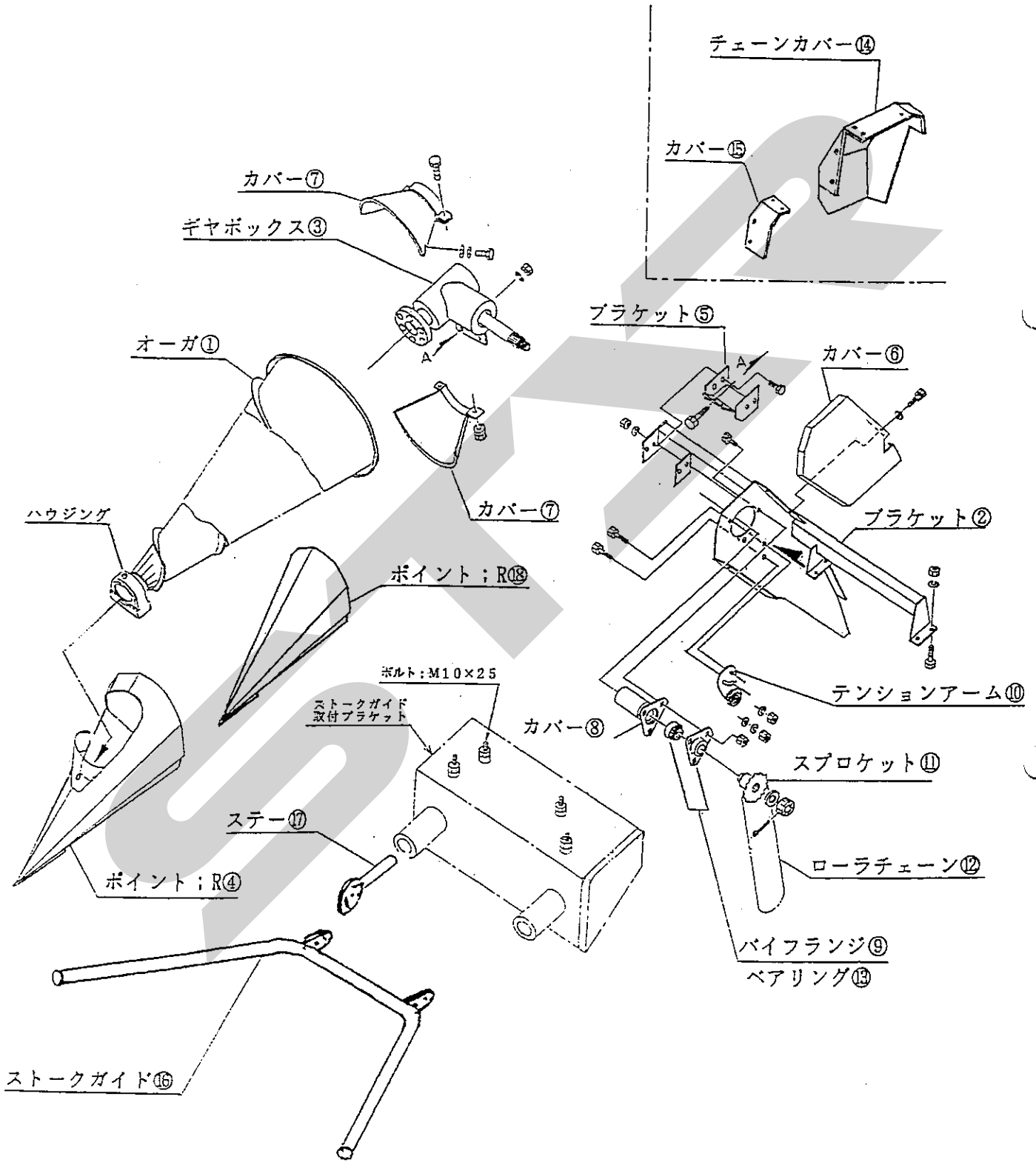
1. 解 梱

木枠に固定している部品をほどいてください。

2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

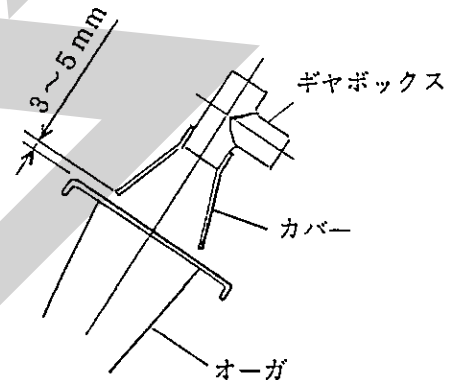
3 ロックロップアタッチメントへの装着



組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

1. 本体からチェーンカバー；R⑭をはずし、さらにチェーンカバー；Rからカバー⑮をはずす。
〔カバー⑮は使用しませんので別途保管してください。〕
2. ストックガイド⑯、ステア⑰をはずす。
〔ストックガイド⑯、ステア⑰は使用しませんので別途保管してください。〕
3. ポイント；R⑱をはずす。
〔ポイント；R⑱使用しませんので別途保管してください〕
4. ブラケット②を取り付ける。
(ボルト、ナットは締め付けずに仮止めの状態にしておく)
5. ブラケット②にテンションアーム⑩を取り付ける。(ボルト、ナットは締め付けずに仮止めの状態にしておく)
6. ブラケット②にブラケット⑤を取り付ける。
(ボルト、ナットは締め付けずに仮止めの状態にしておく)
7. ギヤボックス③とオーガ①を組み立てる。
(オーガ先端にハウジングが付いています)
8. ロックロップアタッチメントのフレームにポイント；R④を取り付ける。
9. ギヤボックス③の軸端をブラケット②の穴に合わせながらブラケット⑤に仮止めし、さらに、オーガ①先端のハウジングをポイント；R④に取り付ける。

10. カバー⑧を図示矢印側から入れベアリング⑬、パイプランジ⑨を取り付け、ボルトで固定する。
(カバー⑧先端がギヤボックス③に入っていることを確認する)
11. スプロケット⑪を組み込みワッシャ、キャスルナット、割ピンで固定する。
12. 本体側のスプロケットに直尺等を当て通りを確認する。今までの手順で仮止めしていたボルト、ナットを締め付ける。
13. ローラチェーン⑫を掛けテンション張り⑥、カバー⑩を取り付ける
14. カバー⑦を図示3～5mmを確認し取り付ける。



15. カバー⑭を取り付ける。

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検

異常な部品は無いか、給油は十分にされているか。ロックロップアタッチメントとの連結は確実に行われているか。

ハーベスタ本体、及びロックロップアタッチメントの点検も、それぞれの取扱説明書に基づき行ってください。

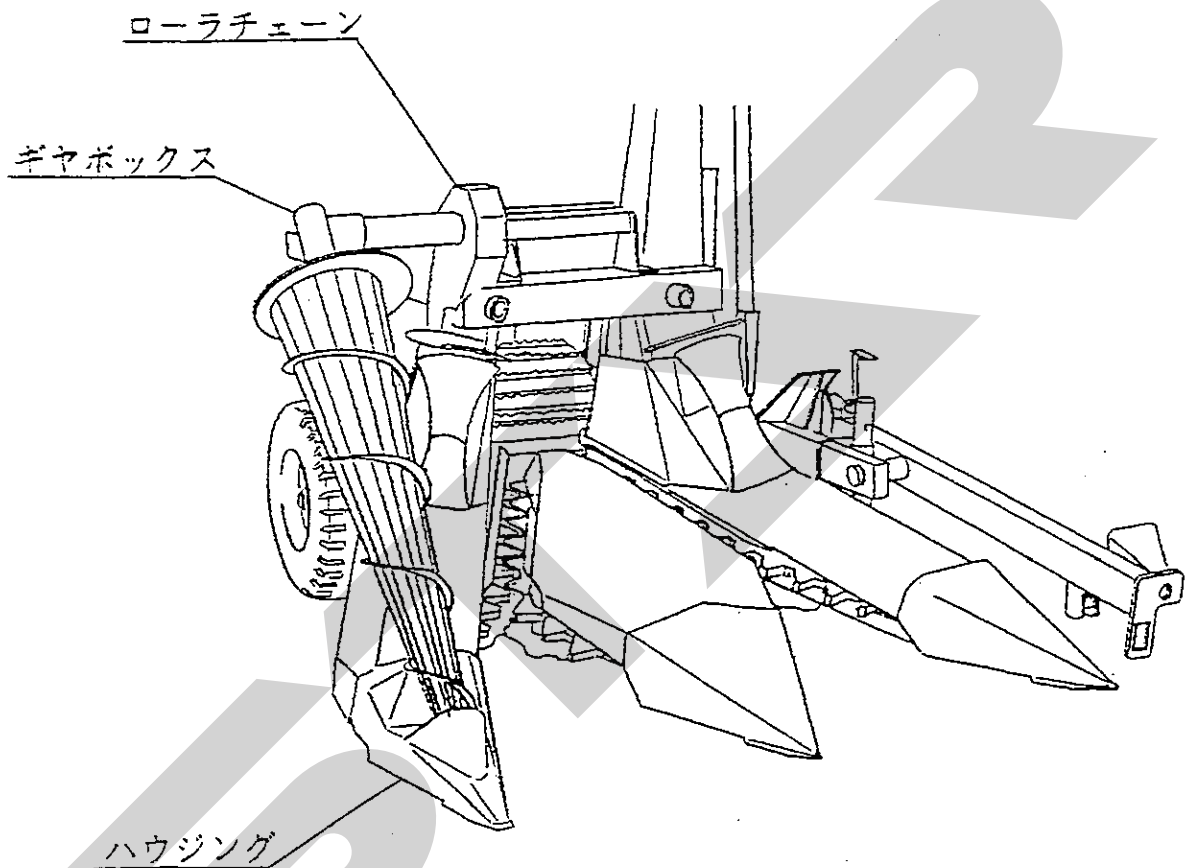
2 エンジン始動での点検

無負荷運転での異常音は無いか。
トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。
ハーベスタ本体、及びロックロップアタッチメントの点検も、それぞれの取扱説明書に基づき行ってください。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No	給油箇所	箇所	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	ハウジング	1	グリース	使用毎	適量	グリースニップル
2	ギヤボックス	1	グリース	シーズン毎	〃	分解交換
3	ローラチェーン	1	オイル	使用毎	〃	オイル塗布

3 作業の仕方

1 本アタッチメントの使用目的

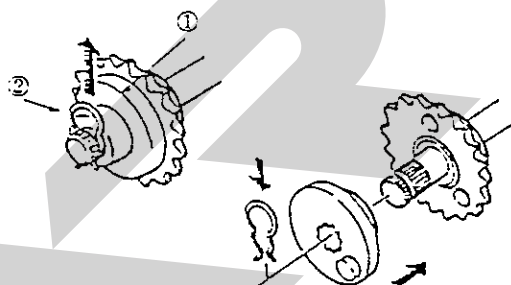
1. 台風等で倒伏した長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の刈り取り時、隣接した畦からの分離を補助するために使用します。
長稈作物の条播で倒伏したもの以外には使用しないでください
2. 倒伏していない時は本装置を取り外すか、オーガ駆動のローラチェーンを外し、オーガ回転を停止させて使用してください。

2 作業要領

▲ 警告

- コーン引き起こし装置を装着した状態で手供給すると巻き込まれケガをすることがあります。
手供給する時はオーガ、搬送チェーンと刈り取りナイフの回転を停止してください。

枕地や中割等で刈倒したコーン等を手で供給するときはチェーンケースを開けクリップ②を抜き、クラッチホルダ①を裏返しにつけかえて、オーガ、搬送チェーンと刈り取りナイフの回転を停止してください。



4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。
PTOを切り、エンジンを止め、回転部や可動部がとまっている事を確かめてから行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
不具合があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき各部の点検整備を行い、機械を最良の状態安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

時 間	チ ェ ッ ク 項 目	処 置
新品使用1時間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油脂類	補充、交換 増し締め 「2-3給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂
シーズン終了後	①ギヤボックスのゲリス ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤フェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換 「2-3給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ギヤボックス異常発熱	①グリス量が不足 ②ベアリング、ギヤ、シャフト損傷	適正量までグリスを注入する。 部品を交換する。
オーガが回転しない	①ギヤ破損 ②チェーンがはずれている ③チェーンテンションがゆるんでいる	部品を交換する。 チェーンをかけ直す。 テンションを張り直す

※原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 製品名 | 3. 製造番号 |
| 2. 部品供給型式 (型式) | 4. 故障内容 (できるだけ詳しく) |

7 部 品 表

部 品 の ご 注 文 に つ い て

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ①製品名
- ②部品供給型式 (型式)
- ③部品名称 (部品表を参照してください。)
- ④部品番号 (部品表を参照してください。)
- ⑤個 数 (部品表を参照してください。)

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「①_付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

例

見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92602	シャフト ①2付	2
2	ONAS6	グリスニップル:A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリスニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) B Z 0 8 1 5 A (G)

┌──────────┐ ┌──────────┐ (メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付

D ; ナット 2 個付

N ; ナット付

P ; ワッシャ付

W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の □、☑は、以下のことを表しております。

□ … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品

☑ … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

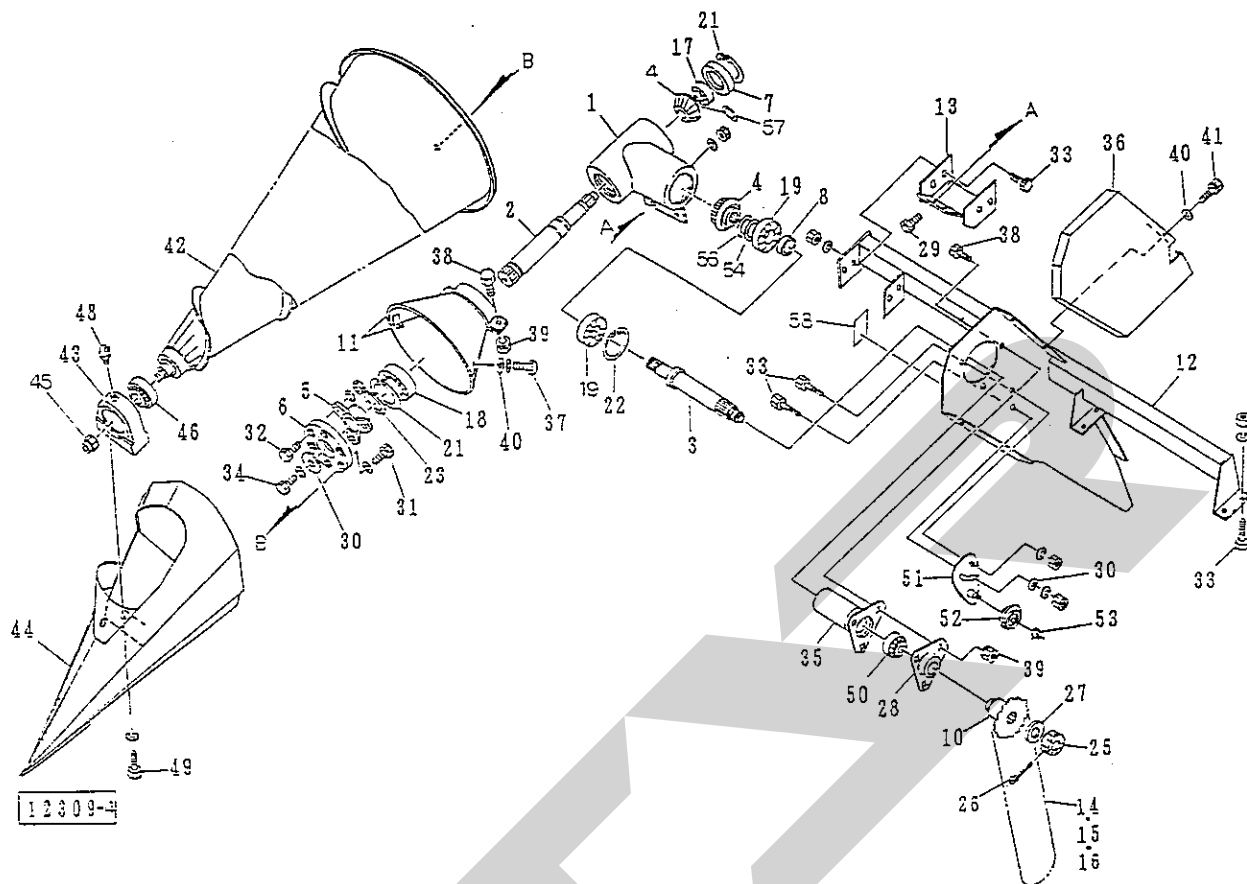
補 修 部 品 の 供 給 年 限 に つ い て

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

ALC2500 コーン引起し装置

(ギヤボックス・オーガ)



図番	部品番号	部品名称	数	図番	部品番号	部品名称	数
1	100863	ギヤボックス	1	26	PC4025G	ワリピン; 4×25	1
2	100864	シャフト; 1	1	27	46001	ワッシャ; 20	1
3	103746	シャフト	1	28	55149	パイフランジ	1
4	74056	マイタギヤ; 19T	2	29	BZ1235AG	ボルト; M12×35(8.8)	2
5	66579	フランジ	1	30	66580	ワッシャ; 10	2
6	87218	カップリング	1	31	BZ1060WG	ボルト; M10×60(8.8)	3
7	100866	キャップ	1	32	BZ1060AG	ボルト; M10×60(8.8)	3
8	82662	カラー	1	33	BZ1030AG	ボルト; M10×30(8.8)	10
				34	BZ1020WG	ボルト; M10×20(8.8)	1
10	99512	スプロケット; 23T	1	35	103813	カバー	1
11	100867	カバー	2	36	98404	カバー	1
12	98406	ブラケット	1	37	BZ0816WG	ボルト; M8×16(8.8)	2
13	98418	ブラケット	1	38	BZ0825G	ボルト; M8×25(8.8)	5
14	LD50109B	ローラチェーン; 50×109 ◎15・16(3ヶ)付	1	39	NP08G	スプリングナット; M8	5
15	AA50	ツギテ; 50	1	40	44097	ワッシャ; 8	5
16	AD50	1ピッチオフセット; 50	3	41	00690	ニギリ; M8×14	3
17	J6205LLU	ベアリング; 6205LLU	1	42	84118	オーガ	1
18	J6306LLU	ベアリング; 6306LLU	1	43	84119	ハウジング ◎48付	1
19	J6206LLU	ベアリング; 6206LLU	2	44	98420	ポイント	1
				45	NN12G	ナイロンナット; M12	1
21	DHC72	スナップリング; H72	2	46	JCS204LLU	ユニットベアリング; CS204LLU	1
22	DHC62	スナップリング; H62	1	48	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	1
23	DC30	スナップリング; S30	2	49	BZ1025WG	ボルト; M10×25(8.8)	2
25	NC2H20150G	キャスルナット; M20×1.5 (2種高形)	1	50	JCS205LLU	ユニットベアリング; CS205LLU	1

START

START

START

調整

S-960711B

本社	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁目3番31号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前2丁目4番27号 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町2255-429 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644